

令和2年度（第14期第2回）小平市廃棄物減量等推進審議会
会議次第

令和2年10月27日（火）
午後2時から4時15分
小平・村山・大和衛生組合
資源物中間処理施設エコプラザ
スリーハーモニー 研修室

- 1 開会
- 2 事務局報告
- 3 議事
 - (1) 小平市の廃棄物を取り巻く状況について
 - ・小平市一般廃棄物処理基本計画（改訂）について
 - ・ごみ組成分析調査について（報告）
 - ・小平市の3R施策について
- 4 スリーハーモニー 施設見学
- 5 その他
- 6 閉会

諮問事項

「小平市一般廃棄物処理基本計画の策定について」（基本的事項）

配付資料

- 1 小平市ごみ組成分析調査報告書 資料1

参考資料：令和2年度 小平市の環境（令和元年度実績）・令和元年度ごみらいふ

| | |
|-----|---|
| 会長 | <p>**開会の挨拶と欠席委員の連絡**</p> |
| 事務局 | <p>**配布資料確認**</p> |
| 会長 | <p>それでは、「事務局報告」に移ります。事務局よりお願いいたします。</p> |
| 事務局 | <p>・令和2年9月5日（土）「こだいら環境デー2020」開催報告 →午前10時から午後3時まで 小平市リサイクルセンターにて開催 →感染症対策にも細心の注意を払い開催 →市民ボランティア3名、約380名の来場者 ※なお、次回リサイクルきやらばんについては、11月17日（火）13時30分より小川西グラウンドで行う。（詳細は11月5日号の市報及びホームページで広報）</p> <p>・セブン-イレブンと連携したペットボトル自動回収機の設置 →市内19店舗のセブン-イレブンに設置 →ペットボトル5本ごとにナナコポイントが1ポイント付与 →拡大生産者責任の観点から導入した新事業</p> <p>・清掃関係事業者に対しマスクを配布 →清掃関係事業者を支援するため、国の補助金等を活用し作成 →収集作業員が収集時等に使用中</p> |
| 会長 | <p>事務局報告について質問等がありますか？</p> |
| 委員 | <p>ペットボトル回収機の導入は非常に良いことだと思います。市とセブン-イレブンが協定を結ぶということで、市の役割としてはどんなことあるのでしょうか？</p> |
| 事務局 | <p>市の役割としては、広報関係が中心となっております。機器の設置はセブン-イレブンでやっていただいております、実際の収集は市内でごみ収集を行っている清掃事業協同組合が行っております。</p> |
| 委員 | <p>先日、近所のセブン-イレブンにペットボトルを持っていきました。「5本ずつ」が回収の対象と思い、探し集めて店舗に行ってみたのですが、実はナナコのポイントにこだわらなければ5本に満たなくても回収できることを知りました。そのような点についても、アピールをすればさらに回収率が上がるのではないかと思います。</p> |
| 事務局 | <p>委員の仰るとおりで、「5本で1ポイント＝1円分」ということになるのですが、基本的には回収の度に本数はどんどんカウントされ累積されます。今後の市報での周知も検討してまいります。</p> <p>また、ナナコポイントをご利用されていない方でもこの回収機を使えますので、是非ご利用いただきたいと思います。</p> |
| 会長 | <p>それでは議事に移ります。</p> <p>本日は、第2回の審議会となりますので、まずは現状把握として小平市のごみ減量施策を学ぶ機会としたいと思います。</p> <p>今後の活発な議論の土台として、小平市の廃棄物を取り巻く状況を幅広くご理解いただくとともに、知識を蓄積していただければと思います。</p> <p>この第14期審議会への諮問内容は、「小平市一般廃棄物処理基本計画の策定について（基本的事項）」となっておりますので、事務局の説明の際には、現計画の内容</p> |

| | |
|-----|--|
| | <p>にも触れた形で説明をお願いしたいと思います。</p> <p>それでは、事務局からお願いします。</p> |
| 事務局 | <p>・小平市一般廃棄物処理基本計画（改訂）について</p> <p>○計画対象期間及び目標年度</p> <p>平成30年度から平成34年度（令和4年度）までの5年間</p> <p>○中間見直しの背景</p> <p>改訂前の平成26年度から4年を経過した時点で、中間目標年度に達し、それに伴い定期見直しを行った。</p> <p>○「排出物原単位」と「処理ごみ量原単位」について【数値目標】</p> <p><u>「排出物原単位」とは…</u></p> <p>「燃やすごみ、燃やさないごみ、粗大ごみ」の収集及び持込み分の量と「資源物」の収集及び持込み分の量、また、「市が関与する拠点回収」として、公共施設での資源物の量、その他として、自治会や子ども会が回収する「集団回収量」の合計したものを人口及び年間日数で割ったものが、「市民一人1日当たりのごみ・資源物総量」である「排出物原単位」</p> <p>【目標値】</p> <p>⇒排出物原単位については、平成25年度からの4年間の減量実績を踏まえ、平成24年度実績比で15%以上減の640g/人日以下</p> <p><u>「処理ごみ量原単位」とは…</u></p> <p>「排出物原単位」のうち、「燃やすごみ、燃やさないごみ、粗大ごみ」の収集及び持込み分の量のみの総量を人口及び年間日数で割ったものが、「市民一人1日当たりのごみ量」である「処理ごみ量原単位」</p> <p>【目標値】</p> <p>⇒処理ごみ量原単位については、平成24年度実績比で概ね20%減の480g/人日以下</p> <p>○重点施策</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 3Rの推進・適正処理に向けた意識向上 (2) 生ごみの減量（食物資源の資源化推進） (3) 食品ロスの削減の推進 (4) 容器包装プラスチックの資源化推進 (5) 適正な処理の維持・向上に向けた処理体制の整備 (6) 家庭ごみ有料化・戸別収集への移行 |

| | |
|-----|--|
| | <p>※平成31年4月から「家庭ごみ有料化及び戸別収集への移行」を実施しており、市民みなさまのご協力により、令和元年度の収集ごみ量は前年度と比較して約20%の減量が実現。</p> <p>・小平市災害廃棄物処理計画について</p> <p>○計画の対象</p> <p>震災及び巨大な風水害</p> <p>○災害廃棄物の処理主体</p> <p>小平市で発生した災害廃棄物の処理は、ごみについては、小平・村山・大和衛生組合のごみ処理施設、資源については小平市リサイクルセンター、し尿については、湖南衛生組合の処理施設を中心に処理を行うことを基本とする。</p> <p>災害の規模、災害廃棄物の量や種類により、小平市及び組合のみで処理することが困難な場合は、他市町村等及び民間事業者からの支援を要請する。</p> <p>○災害廃棄物の仮置き場について</p> <p>※レイアウト図は、小平市災害廃棄物処理計画概要版参照</p> |
| 会長 | 何か質問はありますか？ |
| 委員 | 災害廃棄物処理計画についてですが、仮置き場のレイアウトに関して、具体的に場所はどこを想定されていますか？ |
| 事務局 | 仮置き場の具体的な場所については、現時点で明確に決めているわけではございません。実際の災害時は、廃棄物がどの程度小平市内から発生するのかが分からないので、おそらくどこかの公共施設等になるのではないかと思います。 今後、庁内の関係部署と調整していくことになります。 |
| 委員 | 日本各地で災害時に廃棄物が町の中で山積みになっている光景をテレビで見ることがあります。やはり、そういった場合の廃棄物の置き場等については、前もって考えておかなければならないと思います。 |
| 会長 | こういった内容は時間がかかると思います。 場合によっては、民間の用地等をお借りして置き場にするということも選択肢のひとつになると思います。私もいくつか災害廃棄物処理計画を見てきましたが、廃棄物の置き場を明記しているのは見たことがありません。仮置き場の選定や見極めは時間がかかりますし、周辺住民の理解も必要になります。 |
| 委員 | 仮置き場については、ある程度は市のほうでも心づもりはされていると思います。3市（小平市・東大和市・武蔵村山市）と小平・村山・大和衛生組合での連携があると思うのですが、災害発生時はそれぞれの市も被災している状況で手がまわらないことも想定されますから、小平市から距離の離れた遠いところにある自治体等と提携するというのもお互いに助け合いやすいと思うのですが、その点はいかがでしょう？ |
| 事務局 | 仰るとおりで、災害発生時は3市とも被災している状況なので、広域的な連携も視野に入れていく必要はあるかと思います。 |

| | |
|------------|--|
| <p>会長</p> | <p>仮置き場については、かなり大きな広い敷地になると想定されますが、災害発生時は1か所だけに全部運び込むということは難しいと思いますので、公園等のいくつかの場所を地域の置き場として利用しながら、そこから適宜運び出すような形が実際にはとられるのではないかと思います。</p> |
| <p>委員</p> | <p>有料化後、ごみ量が約20%減したとのことですが、その小平市の実績値は多摩地域の中ではどのあたりの順位に位置しているのですか？ また、今後焼却場の更新をしていくにあたって、可燃ごみの処理を他自治体をお願いしないといけないと思います。それについての受け入れ先はあるのでしょうか？</p> |
| <p>事務局</p> | <p>まず、1点目の多摩地域での順位ですが、多摩26市の中で有料化前は19位だったのですが、有料化後は4位まで上がりました。これは非常に減量効果が出ていることを表しています。 2点目についてですが、たしかに炉の建替えによりまして、一時的に他の自治体にごみ処理の支援をお願いしないといけないということで、今現在、小平・村山・大和衛生組合で既に支援先の選定に入っているところです。まだ決定まで至っておりませんが、来年度から少しずつ小平市から出る燃やすごみの一部もそういった支援先に運び込まれるというような話が現在進んでおります。</p> |
| <p>会長</p> | <p>それでは、次の組成分析の報告をお願いいたします。</p> |
| <p>事務局</p> | <p>・ごみ組成分析調査について（報告）</p> <p>○目的と概要</p> <p>排出されたごみの中身を見て、その組成分析し、適正に分別がされているか確認し検証を行う。おおむね2年に1度業者に委託をして実施する。</p> <p>※今回は有料化・戸別収集へ移行後初めての実施となる。</p> <p>○調査日程</p> <p>令和2年1月20日から31日（6日間）</p> <p>※各数値について報告※（以下、質問事項に関連した報告箇所を抜粋）</p> <p>26 ページをご覧ください。第3章 不適正な分別の割合、1 燃やすごみ ですが、燃やすごみには分別が不適正なものが19.7%含まれており、12.8%は可燃性資源となります。可燃性資源の割合は、雑がみが6.6%、古布・ふとんが3.9%などと多い状況にあります。</p> <p>29 ページをご覧ください。第5章 その他の調査結果、1 未利用食品、(1) 調査目的 ですが、燃やすごみの中には、利用せずに廃棄した未利用食品が含まれており、今回調査でも燃やすごみの1.5%が占められており、今後、ごみ減量を推進していくためには、ごみとして出さない発生抑制が重要であることから、未利用食品の廃棄実態について調査しております。</p> <p>35 ページをご覧ください。3 理想の分別がされた場合のごみ量 ですが、(3) ごみ量合計 でございますが、理想の分別がされた場合には、燃やすごみが5,404トン減少し、燃やさないごみが399トン増加するため、合計で5,005トン減少することになり、15.6%のごみ減量の余地があります。</p> <p>36 ページをご覧ください。(4) プラスチック製容器包装 ですが、令和元年度の</p> |

| | |
|-----|---|
| | <p>推計量1,770トンと比較して、理想の分別がされた場合には671トン増加することになります。</p> <p>4 家庭ごみ有料化前後のごみ減量率の他自治体との比較 ですが、推計値ベースになります。小平市のごみ減量率は19.1%で、多摩地域で直近で有料化を導入した5自治体の平均17.6%を1.5ポイント上回っております。</p> |
| 委員 | <p>雑紙の件なんですけど、私どもは資源組合として雑紙をどのように扱うか検討しているのですが、組成分析の際は、まだまだ使えるような紙の状態に出ているのですか？それとも汚れている状態に出ているのですか？</p> |
| 事務局 | <p>今回の調査で、実際に中を見てみたところ、まだまだ使える雑紙というのは沢山ありました。粉々のような状態のものもあり、それは燃やすごみでよいとは思いますが、まだまだ使える状態の紙類の混入は非常に多いです。これについては、市としても課題だと思っておりますので、広報についてもさらなる検討をしていきたいと考えております。</p> |
| 委員 | <p>雑紙袋について、小平市では新聞紙で作るというものをやっていらっしゃると思うのですが、雑紙袋を回収の指定袋として使い、そこに雑紙類を入れてホッチキスで留めるというやり方も良いのではと東多摩再資源化事業協同組合で話しているところなんです。</p> |
| 会長 | <p>分別のきっかけを回収袋で提供するということですね。他にいかがでしょうか？</p> |
| 委員 | <p>プラスチック製容器包装についてですが、他の市では汚れているプラスチック製容器包装を洗わずにごみとして捨ててくださいと案内をしているところもありました。たしかに水も限られた資源です。小平市では汚れているプラスチック製容器包装を洗って資源として出すことと、そのままごみとして出すこととどちらを推奨しているのですか？</p> |
| 事務局 | <p>プラスチック製容器包装の出し方についてのご質問はよくいただくのですが、小平市としてはやはり資源化を進めたいということもございますので、基本的には洗って資源として出してくださいとお答えしております。どうしても汚れが落ちないものは、燃やすごみとしていただければと思います。</p> <p>また、トレーやプラスチック製容器包装については購入店に返していただくというスタンスを基本として広報しておりますが、ご自宅から出される場合は、お手数ですが洗っていただいたうえで指定収集袋（青色）に入れて出していただきたいと思っております。</p> |
| 委員 | <p>理想の分別がされた場合の項目について、汚れたプラスチック製容器包装を洗って資源化するというのは想定はされているのですか？汚れたプラスチック製容器包装は燃やすごみで出すようにと書かれているような印象も受けるのですが。</p> |
| 事務局 | <p>調査項目の表現等は、今後検討していきたいと思っております。</p> |
| 委員 | <p>食品ロスについて、1.5%としか出ていませんが、要するにほんの少しでも手をつけた食品類は厨芥として分類されてしまうわけです。つまり、減らせる食品ロスは大半は厨芥類に入ってしまったら、減らせる余地は1.5%に比較したら10倍以上になるのではという印象を持っています。食品ロスを減らすということを市で考えていくのであれば、それに対応した分類を設けるべきだと思います。</p> |
| 事務局 | <p>他市の食品ロス削減計画の作成事例等も参考にしながら今後検討していきたいと思っております。</p> |

| | |
|-----|--|
| 事務局 | 今の件ですが、未利用食品だけでも1.5%（年間455トン程度）になり、市としてはそれをまずなくすことが重要だと考えております。仰られた点については、市の「食べきり運動」等で啓発していければと考えております。 |
| 委員 | 組成分析の結果について、市が気づいたことはありますか？ |
| 事務局 | 燃やさないごみに含まれていたプラスチック製容器包装が相当減っている印象があります。今回の結果を、次回以降の調査にも生かしていきたいと思っております。 |
| 委員 | さらなる分析に期待しております。 |
| 会長 | よろしいでしょうか。それでは次は、小平市の3R施策についてです。お願いします。 |
| 事務局 | <p>・小平市の3R施策について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○食物資源循環（モデル）事業 令和元年度実績：参加世帯数1,000 グループ数171、回収量82トン ○食物資源（生ごみ）処理機購入費補助金 令和元年度の申請実績は「電動乾燥型の補助」が116件、2,308,800円 ○リサイクルきゃらばん 年6回程度の開催 ○ごみゼロフリーマーケット 環境関連のブースを出したり、フリーマーケットを行う。 例年約1,300人位の方が来場（令和2年度は中止） ○こだいら環境フェスティバル 毎年9月の第1週に、中央公園と直近の「ふれあい下水道館」で開催。 環境部として開催し、フリーマーケットを始め、環境や飲食関連のブース等59店舗、舞台出演の6団体等も参加し、約7,000人の来場者がある一大イベント。 ※令和2年度は中止。代わりにこだいら環境デー2020を開催。 ○陶磁器食器 回収資源化事業 昨年度の常時回収は、年11,497キログラムの回収量となっており、月平均1トン弱の回収量となります。この傾向は今年に入りましても、コロナ禍での断捨離効果もあり、衰える事なく、むしろ月1.2トンのペースで微増している状況。 ○小型家電の回収 出張所や図書館など市内の公共施設11か所に回収ボックスを設置して、自由に入れているが、多い所では50キロのBOXがすぐ一杯になるため、毎週1回のペースで回収を行っている。 |
| 会長 | それでは、小休憩を挟んで、この施設の見学に移りたいと思っております。 |
| | ***休憩*** |
| 会長 | 再開いたします。 |

| | |
|-----|--|
| | こちらの施設見学ということですので、小平・村山・大和衛生組合の伊藤課長にまずはご挨拶をいただきたいと思います。よろしくお願いします。 |
| 小村大 | **挨拶** |
| | **2グループに分かれ施設見学** |
| 会長 | 見学お疲れ様でした。 今回学んだ内容や経験をぜひ大切に持ち帰っていただきたいと思います。 |
| | では、最後に事務局から次回の開催日程を決めたいと思います。 |
| 事務局 | **次回、第3回審議会は、令和3年3月18日（木）に開催決定** |
| 会長 | それでは、これにて閉会といたします。お疲れ様でした。 |
| | ～ 散 会 ～ |